

2016年10月18日
サンコール株式会社
大日本印刷株式会社

サンコールと大日本印刷 リハビリテーション用歩行アシスト機器 2 機種を HOSPEX JAPAN 2016 に共同出展

サンコール株式会社(本社:京都 社長:山主千尋、以下:SC)と、大日本印刷株式会社(本社:東京 社長:北島義俊、以下:DNP)は、リハビリテーション用歩行アシスト機器 2 機種を、来る2016年10月26日(水)～28日(金)に東京ビッグサイトで開催される HOSPEX JAPAN 2016 に共同出展します。

【HOSPEX JAPAN 2016 について】

HOSPEX JAPAN 2016 は、一般社団法人日本医療福祉設備協会および一般社団法人日本能率協会が主催する医療福祉関連の総合展示会で、医療機器、介護福祉機器、建設・設備エンジニアリング、医療機器部品、製造開発ソリューションなど医療福祉分野に係る様々な展示が行われます。

■開催概要

会期：2016年10月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール&アトリウム
〒135-0063

東京都江東区有明3丁目3-11-1

主催：一般社団法人日本医療福祉設備協会
一般社団法人日本能率協会

URL: <http://www.jma.or.jp/hospex/>

西ホールアトリウム AT-04 サンコール/大日本印刷ブース



【出展品の紹介】

① 装着型運動支援装置(仮称)

装着型運動支援装置(仮称)は、SCとDNP等が参画する京都大学 COI プログラム※グループ2で開発を進めている、脳卒中後の片麻痺者の歩行リハビリに使用する、装着型歩行アシスト機器です。

患者自身の力を主体とした歩行訓練を基本として、患者の歩容に対し、修正の必要なタイミングに適切なトルクで膝関節をアシストすることで、歩容を矯正し、理想的な歩行に導きます。

本機は汎用の長下肢装具に着脱可能で、左右兼用であること、装着時間が約1分と短いこと、小型軽量であることを特長としています。



※京都大学 COI プログラム

文部科学省による革新的イノベーション創出プログラム(Center Of Innovation STREAM)事業の全国13拠点のうち、京都大学が中心となって運営している拠点。「しなやかほっこり社会の実現」をキーワードに、①コードレス・電力伝送・省エネエコシステム、②安心生活・センサーネットワーク、③予防・先制

医療、④先端医療の4グループで活動を行っています。

関連 URL

文部科学省 COI

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/coi/index.htm

京都大学 KCOI

<http://www.coi.kyoto-u.ac.jp/>

② 歩行リハビリ支援システム KAI-R

歩行リハビリ支援システム KAI-R は、SC、DNP、山梨大学、甲府市立甲府病院の4者で共同研究開発を進めている、人工膝関節置換術(TKA)後の歩行リハビリに使用する、患者の早期回復、歩行矯正を目的とした装着型歩行アシスト機器です。

リハビリにおいて本機を装着して歩行訓練を行うと、膝屈曲補助・膝伸展補助・腿上げ運動機能により、代償歩行の抑止、足部高さや歩幅の向上などの効果をもたらします。

また、歩行測定機能を備えており、歩行中の関節角度・足底の着地状態・アシスト状態等を無線送信し、タブレット端末で表示して、歩行の分析が可能です。



【今後の展開について】

SC と DNP は、装置の駆動効率と耐久性の向上、安全装置の組み込みなど、より効果的で安全なリハビリを実現するために更なる改良を行い、装着型運動支援装置(仮称)は 2018 年度の社会実装(実証実験)を目標に、KAI-R は 2018 年度製品化を目標に開発を進めてまいります。

【お問い合わせ先】

■サンコール株式会社

事業開発部門新製品開発部

kai_r@suncall.co.jp

—以上—